

なんりよう

南稜通信

第3号

平成23年
10月発行
長野南高校

学校長 茶鍋 和統

秋の実り



今年、本校の庭にゴーヤ・ミニトマト・サツマイモの苗を植えてみました。ゴーヤは緑のカーテンの役割を担いながら、形は不揃いですが多くの実をつけてくれました。

ミニトマトは、秋になって元気がなくなりましたが、その赤や黄色の実は、生徒の「いただきます！」の声とともに彼らの口の中に消えていきました。サツマイモは生徒昇降口の近くに植えましたが、今は盛りと成長し、収穫が楽しみになってきました。春に芽を出し夏に成長し秋に実をつける、季節の移り変わりとともに成長していくその姿は、本校の生徒の姿に重なるものです。今回はそんな姿を二つの活動を通して紹介したいと思います。

まず、春におきた東日本大震災の復興支援として、生徒会が一円玉募金に取り組みました。

当初私は、「なぜ一円玉募金なのか」不思議に思っていました。生徒の説明で納得がいきました。誰もが参加しやすい広がりのある支援活動にしたい、そのためには金銭的に負担感の少ない一円玉がもっともよいこと、そして負担感の少ない一円玉であれば、繰り返し募金に協力しやすいこと、結果として息の長い支援活動になるというわけです。募金額が三万円なら三万人が協力したことになります。時間はかかるかもしれませんが、広がりと継続をコンセプトにした支援のあり方に私は感心しました。生徒昇降口には、今も募金箱のペットボトルが置かれています。



次に校内の資源ごみの回収です。今年度も全校で回収に取り組み、紙パック五kgを下氷飽小学校の児童の皆さんに提供させて頂きました。この取り組みは小

学生と高校生を結ぶ大切な活動ですが、担当する生徒たちは紙パックの回収・洗浄・乾燥・切り開き・保管と、その行程をこれまで地道に繰り返してきました。同時に全校生徒も紙パックの回収に協力し、この活動を支えてきました。根気のいる地味な活動ですが、生徒一人ひとりの思いが五八kgの重量となつて表れた価値のある活動でした。



秋は「実りの季節」です。生徒にとつても展覧会やコンクール、あるいは体育大会などの開催により、発表や活躍の場が増えてきます。実をつける作物のように、何事にも結果が求められる季節です。本校にはご紹介した活動以外にもこれまで様々な取り組みがありました。結果を残しながら確実に成長していく生徒の姿を、日々頼もしく思っているところです。

問合せ先

教頭 荒木 博明

教務 玉井比知朗

Tel 026-284-8850

(学校代表)

Tel 026-284-8851

(教務室)



アルバイトより 部 活 動

生徒指導主事 内藤 信一



本校は昨年度までアルバイトについては「届け出制」でした。届けさえ出せば、誰でも平日にアルバイトをすることができました。昨今の経済状況の良くない中、アルバイトをして家計を助けなければならぬ生徒もいます。しかし、多くの生徒はそういった事情というは無く、自分の小遣いのためにアルバイトをしていました。そのような生徒は、アルバイトを行うために時間とエネルギーを取られてしまう上に、稼いだお金を使って遊ぶことに、時間や興味関心が向けられてしまい、二重に学校生活に悪い影響がありました。

そこで、本年度より平日のアルバイトは原則禁止としました。期待する効果で大きなものは、

① 勉学に向ける時間やエネルギーを増やせる。

② クラブ加入率を上げ、活動を盛んに出来るの2つです。

本校は昨年度までも、一年生の一学期の間は、アルバイトは禁止だったので、今年の一年生も昨年度の一年生も一学期に関しては同じ...と思われるかもしれませんが、そうではなく、既に平日のアルバイトを禁止した効果が現れています。昨年度の一年生は、二学期からアルバイトを始めることを見越して、一学期の間はクラブに入らず、放課後教室に残って暇そうに時間をもてあましていることがよくありました。今年度はそのような生徒はおらず、クラブ加入率が良くなっています。今後は、勉学の面でも生徒会活動の面でも、良い影響が現れることが期待されると思います。

諏訪東京理科大学 篠原菊紀教授

PTA講演会



一〇月一日(土)公開授業終了後、本校体育館において、『脳活動』で有名な諏訪東京理科大学教授の篠原菊紀先生を講師にお招きして、PTA講演会が開催されました。『子供の脳に必要なこと』を演題に、脳に必要なこととして「頭や体をしっかり使う、

人とのコミュニケーションをとり、生活習慣病の予防をすることが大切」など生徒や保護者、職員に熱く語っていただきました。

クリーンスクールキャンペーン



九月二十二日(木)の中間考査終了後、今年度2回目のクリーンスクールキャンペーンが実施されました。一回目は六月二十四日

の期末考査終了後に、二学年による杉倉敷地内の側溝と1階の窓ふき清掃を、今回は一年生が通常分担任の清掃を、時間を三〇分に延長して行いました。日頃は手が行き届かない窓ふきや壁、床のふき掃除などに時間をかけました。今後も十一月に清美委員会による落ち葉拾い、来年二月には、三年生によるHR教室及び使用教室の徹底清掃が計画されています。

地域 ボランティア活動



学校近隣のゴミ拾いをする生徒会執行部

九月五日(月)の放課後、生徒会執行部十数名で、学校近隣のゴミ拾い活動を行いました。サークルRく近くの公園方面と、学校く蕎麦屋書店近くの公園の2班に分かれ、途中雨に見舞われ、ずぶ濡れになりながら約1時間活動し、缶・ペットボトル・ティッシュ・紙パック・菓子袋・たばこの吸い殻などゴミ袋1袋分を回収しました。今後も『積極的に地域の活動に参加し、貢献したい』とある生徒は、話しています。